



△善得寺跡にある善得寺公園の「三国同盟の庭」。
和平協定を結んだ三国にちなんで、駿河(左)、甲斐(右奥)、相模(手前)産の石を配置してあります。

善得寺祭

3月19日(日)
10:00~14:00

善得寺公園

- バナナのたたき売り
- けん玉の披露
- 詩吟、民謡、太鼓の披露
- カラオケ大会
- 投げもち

問い合わせ 今泉公民館 ☎51-4200

こちら編集室

阪神大震災の前夜、くしくも私は妻と「神戸の街って行ったことがない。暇ができたら行きたいね」と話して床についた。翌朝テレビに映し出された神戸の街は、言葉を失うほどの状況だった。

多くの人が、自分の愛する家族や友人を亡くし、今もなお避難所

生活を余儀なくされていると聞く。「被災者の方々のために何かしたい」とは思っても、せいぜい募金する程度で、仕事や家庭を理由に、今も自分は安穏と生きている。

東海地震が起きたとき、私は人のために何をすべきか、何ができるのか、真剣に考えねば。(ヤツア)

富士の民話 あれこれ

戦国時代、現在の今泉に善得寺という大きなお寺がありました。また、善得寺の西の方角(上和田町付近)には、善得寺城というお城があつたということです。今回は、善得寺と善得寺城のお話を紹介します。

善得寺

善得寺は、三国同盟が結ばれた場所として知られています。三国同盟とは、駿河の今川義元、甲斐の武田信玄、相模の北条氏康の三国の武将が結んだ和平協定のことです。今川氏の軍師である太原雪斎の働きにより実現したと言われています。

善得寺は、貞治二年(1363年)に上杉憲顕の援助を受けて、大黙策禪師が開山した寺で、初めは、福王寺といいました。善得寺

という名は、大黙策禪師の死後、改名されたものです。

その後、何度も兵火のために焼かれ、再建されたり、今泉の寺市場へ移転したりしました。しかし、善得寺は、今川氏の官寺となつてから、富士川以東における今川氏の拠点として栄えました。戦国時代の富士川以東では、一番大きな伽藍(寺院の建築物のこと)を誇ったと言われています。

三国同盟

善得寺は、三国同盟が結ばれた場所として知られています。三国同盟とは、駿河の今川義元、甲斐の武田信玄、相模の北条氏康の三国の武将が結んだ和平協定のことです。今川氏の軍師である太原雪斎の働きにより実現したと言われています。

今川氏の拠点

善得寺城は、善得寺が今川氏の保護のもとに隆盛を誇ったころ、寺の西方に築かれたと言われています。この城は、今川氏の軍事拠点というより、岳南の地における今川支配の政治拠点としての役割が強かつたそうです。

しかし、現在の地形から城の規模や構造などを推定するのは困難で、その起源や変遷についても不明な点が多いようです。

善得寺も善得寺城も、今では当時の建築物は一切残っていません。戦国の乱世の中、今川氏の衰退とともに時代の渦に飲み込まれていったのかもしれません。

人口 232,580人
男 115,965人 女 116,615人
世帯 72,769世帯 (2月1日現在)
発行・編集 富士市総務部広報広聴課
富士市永田町1-100 ☎51-0123

